

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月23日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 各務原高等学校 会議室 (会議に先立ち、委員による授業参観を実施)
- 4 参加者

委員	長倉 守 小川 陽子 奥村 篤 古田 希雄 堀 善子 上河原朋子	岐阜大学大学院教育学研究科准教授 新生こどもえん園長 各務原市立中央中学校長 各務原市 市長公室 まちづくり推進課 課長 各務原市市民生活部税務課主幹兼税制係長 本校PTA副会長 (一部当日参加できない委員は書面による参加)
学校側	細井 恒樹 堀 卓也 金森 香織 武藤小百合 美濃輪智彦 橋本 純 水野 里美 小野木 隆 片桐 豊 北原 剛	校長 教頭 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事 特別活動部長 渉外部長 研修主事

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 令和5年度「スクール・ポリシー」及び「指導の重点及び学校経営計画」について

意見1：知・徳・体は、明治以来多くの学校で大切にされてきた教育目標である。しかし、明治時代に求められる知・徳・体と、令和で求められる知・徳・体は違う。令和で求められる知・徳・体は、本校の校訓である開拓者精神につながっている。校訓を大切にして教育活動を進めてほしい。

意見2：少子化が進む中で、学校としての特色をいかに出していくかが大切になってきている。

(2) 各分掌の「方針と重点、現状と課題」について（授業参観等も踏まえて）

教務部関係

意見1：新しい学習指導要領の実施に伴い新しい科目が入ってきたが、多様な生徒がいる状況の中で柔軟に対応している。ICTも活用されている。観点別評価は目標と指導と評価の一体化を目指して行うものであり、テストの時だけではなくて、普段の授業においてどのように考えさせる授業を行うかということが大切である。観点別評価は授業改善のためのものであるという意識で取り組んでいただきたい。働き方改革については、第2回以降で、何かよい対応策を提言できればと考えている。

意見2：久しぶりに高等学校の授業を見たが、全体としては、真面目にしっかりと取り組んでいる。コロナでオンライン授業等も広がったが、ICTの活用によって、教員の負担軽減ができるとうい。

意見3：家庭学習の充実に向けた体制づくりが視点の一つになっているが、これこそ習慣的な部分でもあるため、小中との連携が大切である。

意見4：個々の生徒の学力差が大きくなっているということだが、授業だけでは限界があると思われる。家庭学習時間が増えるような取組みが増えるとよい。

意見5：プリント類を紙ではなくデータとしてタブレット端末で配信することについて、実際のところ学校としてはどう考えているか、教えてほしい。

⇒そのようなスタイルで授業を実施している教員もいる。ただ、タブレット端末が不調だったり、家に忘れてきたりする生徒もいるため、紙をなくすことは難しい。また、実際に紙に手で書いて整理することによって学習が深まる場合もあり、すべてをタブレット端末で配信して紙をなくすということは考えていない。

生徒指導部関係

意見1：いじめについては加害者と被害者がわかりにくく、対応が難しいことも多い。アンケートですべてのいじめがわかるのか。また、いじめの訴えが出てきたらどのように対応しているのか。噂話を聞いて落ち込んでしまう生徒の話があったが、自分の職場の職員でもそういうことがある。人の心は繊細で脆弱なものである。

⇒アンケートでは出てこないものもある。放課後の教育相談や普段の様子を見ての担任からの声掛けなどの中で出てくるものも少なくない。出てきたところでじっくりと生徒の話聞き、状況を把握して対応するようにしている。

意見2：身だしなみについての問題提起があったが、授業では体操服姿の生徒が複数見られた。体操服についての指導はどのようになっているか、教えてほしい。

⇒エアコンの不調などもあり、暑さ対策ということで、体操服での登校や授業への出席を認めている。

意見3：コロナの影響もあり、対人スキルが低下している。カリキュラムを工夫する中で、学習活動の中で人間関係もつなぎながら高めていけるとよい。総合的な探究の時間などはそうしたことを目指せる場ではないかと考えている。

別紙様式 3

意見 4 : 通勤途中に各務原高校の生徒を見かけるが、自転車通学者は、交通ルールをしっかりと守っている。

進路指導部関係

意見 1 : 総合型選抜など、大学入試も多様化している。以前と異なり、総合型選抜入試などで合格した学生の方が、大学に入ってから伸びるという事例もある。総合的な探究の時間や、各教科の探究的な取組みの中で、生徒の自立を目指して指導を進めてほしい。小論文指導については、書き方の指導は短期でできるが、内容が重要になる。総合的な探究の時間の活動で、例えば各務原市の現状と課題を調べるなどをした結果、自分の調べたことを聞いてほしい、読んでほしいという思いができてくるとよい。

意見 2 : 単なる進学指導ではなく、自分らしく生きることや、社会を生き抜いていくための力を育むことにつながるキャリア教育となるような体制づくりがされている。

意見 3 : 課題がいろいろと書かれており、先生達の苦勞が伺われる。社会の在り方が急激に変化している今日は、先行き不透明で、先生も生徒も大変である。

特別活動部関係

意見 1 : 本校が、コロナで滞っていた各種の行事について工夫して実施していこうとしていることはすばらしい。生徒が、各務原高等学校に入学してよかったと思えるようなものになるよう、知恵を絞ってほしい。

意見 2 : いろいろな行事の中で、正解のないことについて、生徒が考える中で力をつけていく。それはまさに校訓の「開拓者精神」に通じる。

意見 3 : エキスパートクラブにはどのような部活動があるのか。具体的に知りたい。
⇒現在の所、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、吹奏楽部がエキスパートクラブとなっている。

保健厚生部関係

意見 1 : 掃除がきちんとされており、気持ちのよい雰囲気であった。今後も環境整備を継続してほしい。

意見 2 : 感染症対策について、特に、新型コロナウイルスが 5 類へ移行した現在ではどのようなようになってきているのか知りたい。
⇒2類相当の頃のような、健康チェック表を用いた日々の健康チェックは行っていない。ただし、入口の手指消毒のためのアルコールは今も継続して設置してある。また、体調不良を感じたら無理せず休むことや、体調不良時のマスク着用について、現時点では推奨している。

図書情報部関係

意見 1 : とてもすばらしい図書館があるので、総合的な探究の時間以外にも、教科の授業や特

別活動においてもうまく活用できるとよい。

意見 2 : 朝読書などの生徒が本に親しむ機会について、現在どのようになっているか。教えてほしい。

⇒読書週間を年に 2 回設け、生徒が本に親しむことができるように、職員による推薦図書を紹介等を行っている。

渉外部関係

意見 1 : PTA の今後について、任意団体としての抜本的な見直しが必要であるという報告があったが、学校を含めて子供を育成することに係る団体においては、保護者が保護者だけの団体だから無関係というわけにはいかない。難しい問題である。

意見 2 : 改正個人情報保護法の関係で、小・中学校においても、PTA 活動において、学校から個人の名簿が出されなくなった。高等学校においても、PTA 活動の見直しは必要になってくる。

教育相談部関係

意見 1 : 課題を抱えている生徒に対する声掛けや対応、スクールカウンセラーの活用やスクール相談員によるサポートなど、大変なこともあると予想されるが大切なことである。

各務原高等学校のふるさと教育（地域課題探究型学習）関係

意見 1 : 「ゼロスマカフェ」等の市の活動に本校の生徒も加わって活動してくれていることに感謝する。市としてもまちづくりの担い手育成を目指し、「まちづくりミーティング」や、三市連携・高校生探究活動交流会などを行っている。総合的な探究の時間の活動に、市としてもできるだけ協力をしていきたい。「まちづくりミーティング」での市長との懇談を活性化の材料にしていくのもよいのではないかな。

意見 2 : 2 年生における探究活動では、各務原市をよりよくするための具体的なテーマを想定していることは大変共感できる。「知る」段階の学びが十分でない、興味や関心を持つことは難しく、課題の発見や探究意欲が生まれにくい。具体的なテーマから目的意識を持たせ、課題を解決していくという学習活動の方向性に共感する。

意見 3 : 総合的な探究の活動が軌道に乗ってきたので、引き続き努力してほしい。地域の方と知り合うきっかけが増えると、各務原高校の生徒のすばらしさがさらに伝わる。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会において、今年度の本校のスクール・ポリシー及び学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について、全委員より承認が得られた。